

## 第 69 回情報交流の会実施報告書

|      |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| 開催日時 | 2026 年 2 月 7 日 (土) 13:30～18:00                  |
| 開催場所 | 会場 (シルクセンターB1F 大会議室)、遠隔 (Zoom Meeting) ハイブリッド開催 |
| 参加者数 | 35 名 (会場 18, 遠隔 17), (正会員 33, 準会員 2)            |

◆第 1 部：小原支部長から開会の挨拶と 157 回役員会開催模様について報告があった。

・技術士開業研修会実践コース(5/16)審議、なるほど！体験出前教室(1/23)、子どもサイエンスフェスティバル寒川大会(1/17)、R7 年度技術士試験合格者祝賀会(71-情報交流の会)(6/6)、「技術士」掲載著書などの報告事項が紹介された。

・支部 HP 紹介で、知識コース(2/28)、MIX 技術士交流会(2/21)、152-CPD 講座(2/28)、41-テクノセミナー(3/6)など行事予定が示された。

・統括本部の動向では、インフラテクコン、R7 二次筆記試験結果、Web 名簿の個人情報取り扱いなどの理事会報告の内容が説明された。

◆第 2 部：安藤委員の司会により、会員による 3 件の CPD 講演が行われた。

講演1「自動車産業を支える品質管理(QCストーリー・PDCA)の役割とは？

上橋賢司 会員 (経営工学) 日産自動車株式会社



大学新卒後、日産で保全・生産技術・海外支援企画などを経て、主にパワートレインの取引先の品質向上に取り組んでいる。自動車産業はOEMを頂点にTier1～3のサプライチェーンで成り立ち、パワートレインは従来のエンジン中心から、電動化によりHを経てBEVへ移行している。品質管理はQCストーリーとPDCAが担っている。問題解決型

での8プロセス、(1) テーマ選定、(2) 現状把握、(3) 目標設定、(4) 日程計画、(5) 原因究明、(6) 対策実行、(7) 効果確認、(8) 標準化が基本となる。この8プロセスは、1回ではなかなか解決しないのでPDCAを回すことになる。三方よし、基本を守る、先手必勝をモットーに進めている。

講演2「再生可能エネルギー主力電源化を支える火力発電の役割」

吉葉史彦 会員 (機械) 一般財団法人 電力中央研究所



1993 年に電中研に入所、2009～2011 にいわき市で石炭ガス化複合発電の研究に従事していた時に、東日本大震災に被災し、身に付けていたもの以外はすべて流された。その後再エネ主力電源化に向けた火力発電の価値を評価する研究に従事している。地球温暖化は、化石燃料の CO2 排出の原因であり、電源を再生可能エネに変えてゆく世界の潮流がある。現状は電力系統を担う火力発電の役割が大きく、火力発電を急に止められない。火力発電の予備力を運用して電力の品質（電圧、周波数）を維持しつつ、脱炭素

化を推進している。脱炭素に向けた移行期では、火力発電を活用しつつ、炭素化を進めている。

講演3「ビールの魂「ホップ」に秘められた健康機能」

金子裕司 会員 (農業) キリンホールディングス株式会社



講師は 2009 年にキリンビールに入社し、研究 10 年、社内ベンチャーの事業化を経て、現在新規事業開発を進めている。ホップを中心に食品素材の研究・事業化を推進。

ホップは、ビールに不可欠な原材で抗菌、泡持ち、濁り防止、苦みと香り付与などの効果がある。ハーブの一種で多様な健康機能を持つ。醸造の常識を逸脱し、あえて熟成（酸化）させ、健康素材としての体脂肪低減、認知機能改善、神経機能改善などを実現した。ホップは長い時代に亘り、研究・開発・品質・社会実装が一体となった技術の好

例である。

◆第 3 部：ハイブリッド交流会では、津村俊一（経営工学）、平山昌男（建設）、櫻井淳（建設[新潟]）、赤枝美里（電気電子[広島]準）、金谷泰和（経営工学）、相澤亮（情報工学）の各会員から一言ご挨拶をいただいた。引き続き、ワンコイン懇親会が開催された。